

全国禁煙アドバイザー育成講習会 in石川 より

「全国禁煙アドバイザー育成講習会 in石川」が、石川勤労者医療協会城北病院の会議室を会場に、11月12日に開催されました。



日本禁煙科学会、禁煙マラソンが共催し国内各地で開催されているこの講習会は、全国では第296回となり、石川県では平成23年より金沢、小松の各会場で毎年開催し、コロナ禍による2年間の中止を挟み、今回は第11回となります。

今回は昨年につき、オンラインと対面によるハイブリッド形式で行われ、看護師、保健師、薬剤師、医師等、医療に従事されている皆さんが国内各地より参加されました。オンライン参加者は県内からの10名を含め17都府県より41名、対面参加者は県内からの5名で、双方合わせ46名が参加されました。

プログラムはオリエンテーション、NPO法人禁煙ネット石川の紹介の後、講義、講演に続いて質問タイムへと進行し、オンラインでの質問に講師の先生方が解説をされました。

産業医研修1 「職場の喫煙対策～新型タバコの最新知識とタフスモーカー対策」

日本禁煙科学会理事長 高橋裕子 先生

産業医研修2 「北陸地方の一企業における職場喫煙対策の取組み」

金沢大学名誉教授 城戸照彦 先生

理事長講演 「禁煙教育における加熱式・電子タバコの重要性」

NPO法人禁煙ネット石川 遠藤将光理事長

高橋先生、遠藤理事長からは、特に新型タバコは「害が少ない」という誤った認識から生じる問題、正しい知識の重要性を説かれました。

城戸先生は国内外に4万5千人の従業員を有する建材メーカーのYKKが、従業員の禁煙化に取り組む過程とその成果を、データを交え詳細に解説されました。



今回の講習会に参加された皆様には大変充実した一日であったと思います。